

申請も承認もかんたん、スムーズ コストを抑えて経費精算を効率化



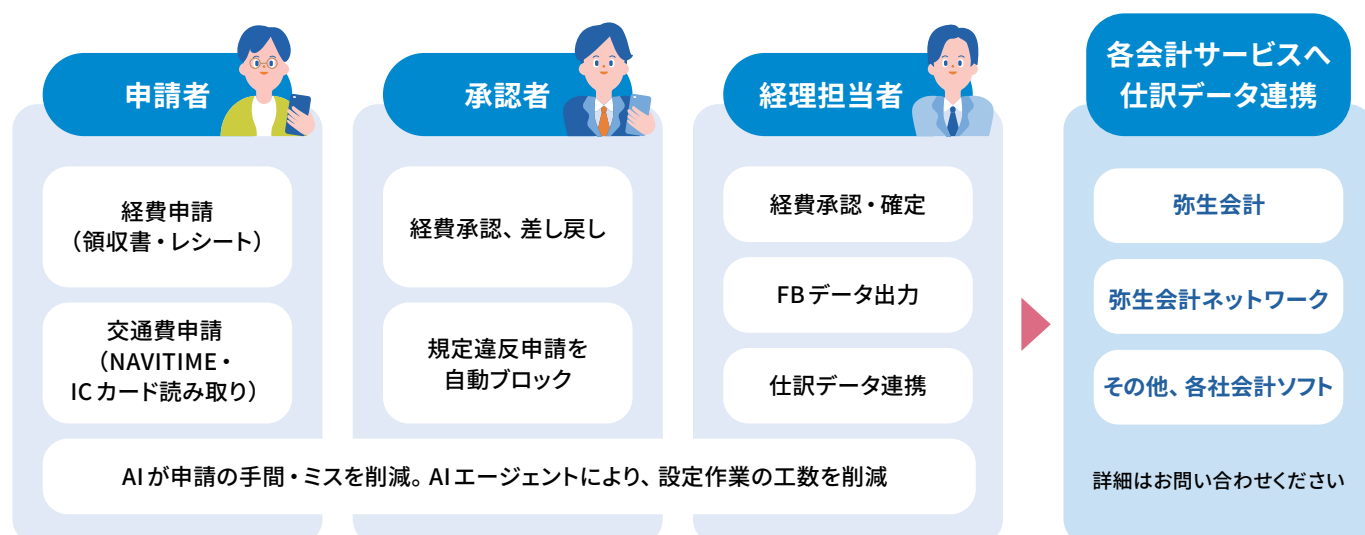
小規模・中小企業（従業員数20名～300名）向けプラン



弥生経費Next

エキスパート

弥生経費 Nextでは、**立替経費精算**にかかる業務から
会計ソフトへの**仕訳データ連携**までを支援します。

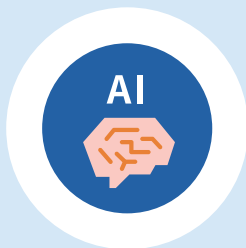


「弥生経費 Next」の主要な機能

これまで紙や表計算ソフトで管理していた経費精算の業務も弥生経費 Next を使えば、低コストで時間も労力も大幅に削減できます。



経費申請・
経費承認



AIが経費タイプを
自動予測



電帳法チェック



専用の
スマホアプリ



会計業務と
自動連携

AIエージェントが 設定をサポート

内容	プロンプト例
金額×科目で承認追加 (高額・交際費)	「交際費が5万円超えたら 営業部長と経理部長を追加 して」
少額の自動承認 (上長スキップ)	「1,000円以下は自動承認 にして上長承認をスキップ して」
部署別の 分岐承認 (営業/開発/管理)	「部署ごとに承認者を変えたい。 営業は営業部長、開発は開発 部長、管理は総務課長。」
海外旅費・外貨 申請の経理ダブル チェック	「通貨がJPY以外なら 経理を追加」

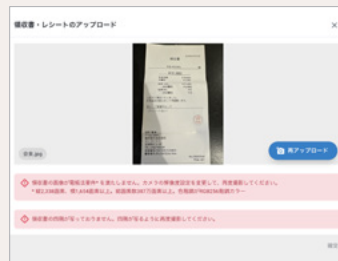
AIエージェント機能では、AIと自然言語で会話して、プロンプトを作成することができるため、初期設定の工数が削減できます。

AIが経費タイプを 自動予測



領収書・レシートをアップロードすれば、AIが画像を読み取り、適切な取引先名や一部の科目名を提案します。入力漏れや誤りを未然に防ぐことができるので、申請者と承認者の双方の負担が軽減されます。

領収書の電帳法対応を 自動判定



領収書アップロード時に電帳帳簿保存法に対応している形式が自動でチェック。電帳法の知識のない従業員でも法令にしっかり対応した経費申請ができます。

「弥生経費 Next」料金体系（年契約）

基本 ライセンス

30ユーザー標準付与
(最低契約は30ユーザーからとなります)

252,000円/年(税抜)

1ユーザーあたり 700円/月(税抜)
8,400円/年(税抜)

ユーザー追加 ライセンス

5ユーザー追加パック
(追加は5ユーザー単位となります)

3,500円/月(税抜)

1ユーザーあたり 700円/月(税抜)

詳細な機能説明・料金体系は製品サイトをご確認ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/lp/partner/keihi-next/>

※お申込みの際は弥生IDをご用意ください。IDをお持ちでない方は、新規登録（無料）いただけます。



正式なお見積りは販売店様へご連絡ください。